

『無い』 作：ポチ子

『無い』 作：ポチ子

天国も地獄もないとしたら、

あんな嫌な奴でも、

地獄で苦しむことがないのか。

神様がいないとしたら、

天罰を下されることなく、

のうのうと生きれる奴がいるのか。

運命がないとしたら、

何故か不幸なあの人は、

特に理由もなく不幸なのか。

もしずっとそうだったなら、

どれほどの人が神に願ったことだろう。

幸せを、不幸を、喜びを、制裁を。

祈っても叶わないから、

声が枯れるほど唱え続けて、

そのまま死んだのだ。

神に祝福されるわけでもなく、

咎められることもなく。